

伊那市有形文化財  
「高藩探勝」より



# 社会教育委員だより

今年度の第1回会議が開催され、活動内容などが確認されました。

平成22年4月23日に高遠町総合支所大会議室にて、平成22年度第1回社会教育委員会（定例会）が開催されました。

北原教育長から各委員へ委嘱書が手渡され、その後、正副会長が選出されました。各委員の任期は平成24年3月末です。

引き続き会議では、今年度の生涯学習関係予算、行事日程が事務局より説明されました。また、社会教育委員の活動として、例年どおり県や上伊那地区での研修会などへの参加のほか、

新たに「社会教育委員による実践活動の取り組み」として6つの事業に取り組むことを決定しました。（次ページ以降で、各委員の紹介に続き、新しい活動への取り組み内容を紹介していきます。）

会議の後、研修として「江戸時代、高遠藩の風景と人々の暮らし」と題して新市発足後最初の文化財として指定された「高藩探勝（こうはんたんしょう）」について学びました。

第1回会議の様子



## 伊那市社会教育委員の皆さんを紹介します

各地区から10名が選出、2年間の任期で活動されます。氏名（敬称略）、選出地区と抱負



兼子 文徳  
(伊那・会長)

委員を一期経験し、さまざまなイベントに参加する市民のみなさんの学習意欲の

旺盛さに感動しました。

二期目に当たり、多くの方々が学ぶところに私自身が参加して、共々学びながらみなさんの声を拾い上げ、今後の生涯学習推進に生かして参りたいと思っています。



唐澤 淳  
(富県)

私の不勉強のため、社会教育委員の仕事はあまりにも

守備範囲が広く漠然としていると、戸惑いを感じておりました。しかし考えてみると広い社会教育全般の中から、あらゆる分野に理想的な意見を述べられる訳で、その為の研究や調査、視察や研修は自分自身の知識を深めることになり、これも委員の大切な仕事であると思えます。私の社会の一員としての目標の一つとして地域の子供達にもっと地域の良さを教える様な活動が出来たらと考えています。



中島 誠  
(美篤)

社会教育委員をおおせつかって、3年目に入りました。

一期目の昨年度までは五里霧中での職務を求めての日々でした。二期目に入りおぼろげながら自分が進むべき道が見えてきました。60歳までの公務員の経験とその後続いている旅行業のお手伝い(14年)から得た世界的な視野

から、伊那の自然の凄さをともに共有していくことと、自分の野菜作り・花作りの心を大切に

して、人々と接していきたいと願っています。



登内 美貴子  
(手良)

手良地区より社会教育委員としてお世話になり

ます登内と申します。現在は、主人と二人でスローライフな農業をしております。先日冬の間に間伐した檜を使って、テーブルとイスを作り玄関土間に“お寄りてサロン”をオープン?しました。一服出来る場になればと思っております。なに分にも未熟な私ですが、明るく、元気に、さわやかに、ワクワク感を持って、活動に参画出来たらと思います。どうぞよろしくお願い致します。



林 一夫  
(東春近)

このたび、社会教育委員に委嘱されました。皆様にご指

導いただき、精一杯努めて参りますのでよろしくお願い致します。

人生80年代と言われる現在、また団塊の世代が大量に退職する時期を迎えております。このときこそ、誰でもが生涯を通じて個性豊かに生きがいをもって過ごすため、自分自身や地域社会での課題について、一人ひとりが考え、自ら行動していくこと、そして自分の持つ多くの可能性を追求して自己実現ができる社会を築いていくことが、今求められております。このことが取りも直さず生涯学習の今日的意義であろうかと思えます。生涯学習センターや公民館等の広報を見て、皆様も是非参加しましょう。



重盛 栄子  
(西箕輪)

「社会教育委員」とのお話  
に、母の介護をしながら日々  
過す私に本当に出来るのか…と悩みました。再  
度連絡をいただき、自分の出来る範囲の中で精  
一杯やってみようと考えました。第一回会議で  
の沢山の資料と説明に気が重くなりましたが、  
私、一年生は①どんな事でも学んでみよう。②  
動ける範囲の中で興味を持ち色々な場に出て  
みよう。と思いました。その中で「視る目、聴  
く耳」を肥やす事が出来たら、次の一步が踏み  
出せる様な気が致します。



小松 勝  
(西春近)

二期目を迎えました。手探  
り状態だった一期目は市の  
社会教育関係施設見学や、全国、県、郡さまざ  
まな研修会等にも参加させていただき、基礎勉  
強になりました。

今年は、委員会としては「実践活動の取り組  
み」指針も出され、より具体的・能動的に動き  
出そうとしています。地域においては社会教育  
活動の母体である公民館との連携を深めなが  
ら、社会教育・生涯学習の更なる発展のために  
微力ながら頑張りたいと思います。



北原 公雄  
(高遠町)

社会教育委員の委嘱を受  
けて以来その役割等につい  
て、何をどうすればよいかの自問自答を繰り返  
しながら、研修会や諸会議へ出席してきました。  
そこで漸く気づいた点が、それぞれの人々がも  
っている潜在能力を信頼し、それを少しでも掘  
り起こしながら、明日に向って希望のもてる社

会、いきいきと暮すことのできる地域づくりに  
貢献できることへの情熱を持ち続けると同時  
に仕掛人の一人としての職責を果たすことがで  
きればと思うようになってきました。また、こ  
れらのことを具体的に実践する足掛りとして、  
お互いに学びあい、ふれあいながらその効果を  
大きく育てることに微力ながらも社会教育委  
員の一人として、皆様方のご指導とご支援をい  
ただきながら努めて参りたいと存じますので  
よろしく申し上げます。



鈴木 岬  
(高遠町)

四月の末よく晴れた日に  
私は長谷中尾に向けて車を  
走らせました。ダム湖の縁は若々しい緑の芽吹  
きとなり目的の村歌舞伎への美しい序章のよ  
うでした。歌舞伎人形の立っている橋を渡って  
中尾に入りますと、そこは異次元のような盛況  
で、人と車が溢れていました。

芝居は温かく真剣で、笑いと涙、役者と観客  
とスタッフが一つの心となっていました。

市には沢山の生涯学習の場があります。そこ  
では感激と連帯を目差したいと思います。



池上 明博  
(長谷・副会長)

このたび再度社会教育委  
員を拝命致しました長谷出  
身の池上でございます。

社会教育委員の任務について社会教育法を  
何回読んでも任務の内容が良く理解できず困  
っております。

これからは各種イベントに参加して少しで  
も地域へ貢献したいと思っております。諸先輩  
方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し  
上げます。

## 社会教育委員による実践活動の取組み

第1回会議で確認された、新たな取組みの概要を紹介します

「行動する社会教育委員」をめざして、新たな取組みにチャレンジします。6つの「実践」を通して、伊那市の社会教育を推進します。

### I. 現場へ「足」を運ぶ

趣旨：「まず現場から」を合言葉に生涯学習を取り巻く環境を明らかにし、当事者の生の声を拾い上げます。

内容：まず生涯学習課が所管する各種講座などに各委員が参画、現場で感じたことを提言として報告書にまとめ、今後に生かします。

### II. 日頃から「手」に汗を握る

趣旨：自らが学習活動の実践者でなければ助言や指導の信憑性が乏しくなります。

内容：公民館事業等との連携により、委員自らが学習活動を実践し、対外的に生涯学習の重要性をアピールします。

### III. 市民から「顔」が見える

趣旨：社会教育委員の認知度が高いとはいえないのが現状、これからは積極的にPRする必要があります。

内容：「社会教育委員だより」を教育関係機関・団体等へ配布、市公式HPに掲載します。また、学校や地区自治会などに対し、委員の役割などをお知らせし、それぞれの行事への参画を進めていただくよう働きかけます。



### IV. 些細なことでも聴く「耳」を持つ

趣旨：各地区に散在する優良事例や貴重なアイデアを埋れさせず、拾い磨き上げることが大切です。

内容：会議の中で各委員から話題を提供するコーナーを設け、個々の学習活動に対する理解を深め、能力向上と活動の充実につなげます。

### V. 深く掘り下げて見る「目」を持つ

趣旨：市町村合併に伴う市の一体感醸成に市民は大きな期待を寄せています。まずは委員自らが互いの地域の成り立ちや特色を知り、学びあいの機運が高まることが期待されます。

内容：「我がまちのいいところ10選」と題し、委員自らが自然、歴史、文化などのアピールポイントを選定し、会議の中で現地を案内します。そのほか「伊那市を知る」を研修テーマとし、伊那市の社会資源について理解と見識を深めます。

### VI. 腹に納めず「口」に出す

趣旨：教育委員会からの諮問に答えるばかりでなく、必要に応じて調査研究や討論の結果をまとめて自ら声を発する必要があります。

内容：生涯学習基本構想策定の基礎資料として、委員の立場から今後の生涯学習のあり方を提言します。また、「生涯学習に関する意識調査」の結果に内在する問題点や今後の対策などについて議論を深めます。

伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2723） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらまで

